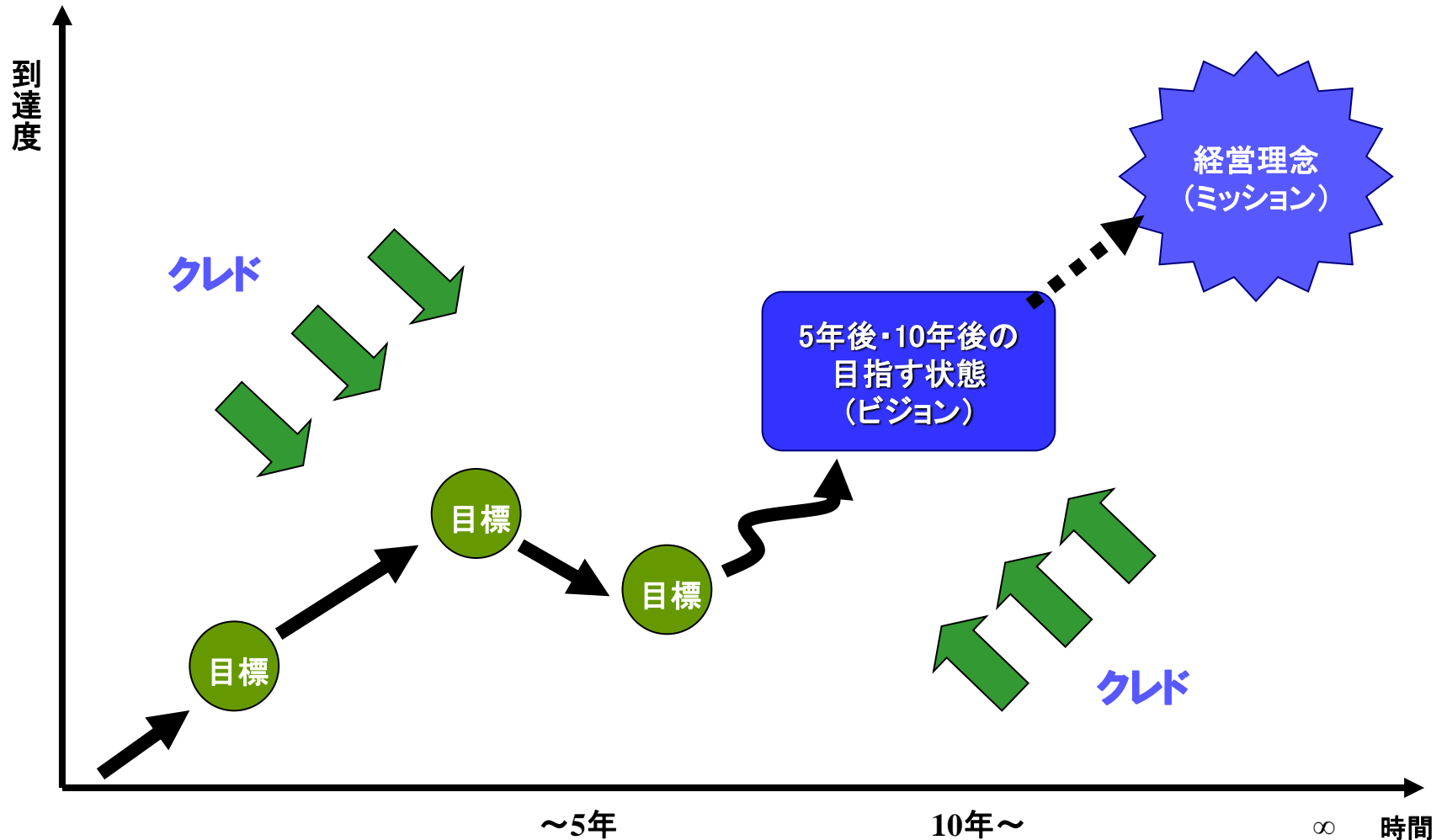


ESクレド作成プログラム

クレドとは「信条・よりどころ」の意味のラテン語。職場において、組織の価値観（経営理念）と個々の価値観のベクトルを合わせながら正しく意思決定・行動し前進し続けるための“判断軸”。



■ 対話の力で組織の土壌を耕す 「ESクレド作成」4つのステップ

STEP1

全社員で成功体験記の記入

1. ES経営について学ぶ
2. クレドの意義・活用例を知る
3. 自己と組織の価値観の結び付け
4. 成功体験記の記入

STEP2

プロジェクトメンバーで 成功体験記を共有

1. 成功体験記の読み合わせ
2. つながりインタビュー
3. 成功体験記からキーワード抽出

STEP3

プロジェクトメンバーで、ことば のまとめ【付箋ワーク】

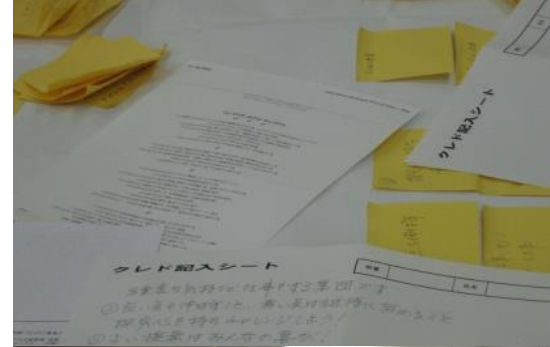
1. キーワードの振り返り
2. キーワードのキャッチコピー化
3. クレドの文章にまとめよう

STEP4

全社員でクレドの共有

1. クレド発表会
2. クレド浸透に向けたワールドカフェ
3. 「成功体験記」の表彰
4. クレド活用策(第一弾)の発表

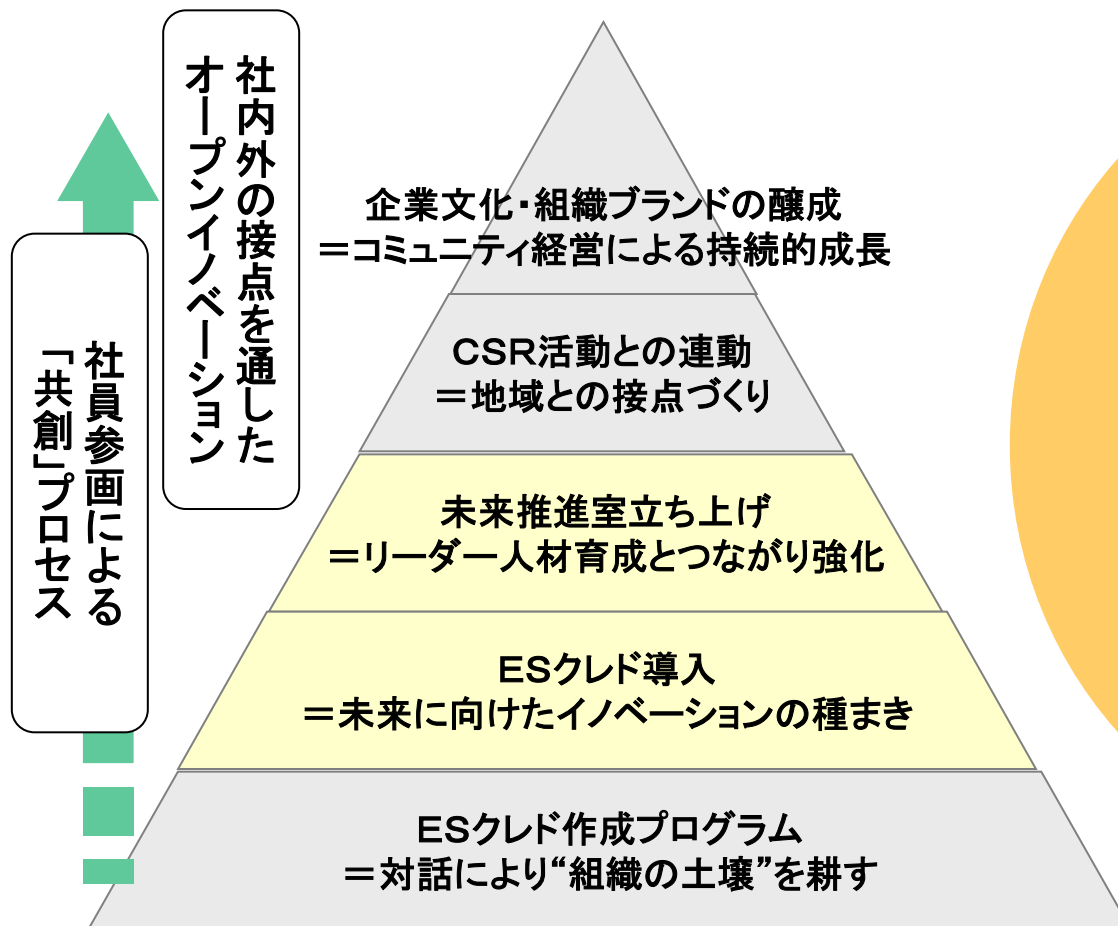
クレド導入!



■ESクレド導入プログラムにおけるESクレド作成スケジュール(例)

段階	参加者	日程	備考	
キックオフミーティング				
具体的内容	全メンバー	6月	※場所:会議スペース	
				・全社員に対する講義
				クレド作成に取り組むことについて 発表致します
クレド作成プログラム				
具体的内容	プロジェクトメンバー	2時間	※場所:会議スペース	
				【第一回】
				・全社員に対する講義(成功体験記を書いてもらうため) クレドとは?ESとは?なぜ今クレドを作るのか? といったお話を致します。
具体的内容	プロジェクトメンバー	2時間	※場所:会議スペース	
				【第二回】
				・成功体験記を読み合い、「共感キーワード」を抽出
具体的内容	プロジェクトメンバー	2時間	※場所:会議スペース	
				【第三回】
				・「共感キーワード」をキャッチコピー化 ・ESクレドの項目確定
具体的内容	プロジェクトメンバー	2時間	※場所:会議スペース	
				【第四回】
				・ESクレド文章化 ・発表会の計画 活用案の検討
ESクレド作成プロジェクトを通して得られること				
・ 自社オリジナルのESクレド		※クレド完成後、全社員参加によるクレド発表会を開催いたします。取引先など外部の方をお呼びする等し、「自分たちのクレド」活用”スタート”の場として、演出します。 ※クレド完成後は、原則毎月一回のペースでミーティングを開催します。		
・ ESを軸とした組織変革の進め方				
・ 会議等で活用できる基礎的なファシリテーションスキル				

■ESクレド作成は“つながりを大切にする経営（コミュニティ経営）”実現の第一段階



ESクレドを浸透させるためには、下記条件を満たしたココロミが重要。

- クレドにまつわるものであること
- 再現性があること
- 持続性があること
- 参画型であること

↓
「対話」と「主体性」を軸とした職場の習慣が根づく

↓
接点が増えつながりが豊かになりチーム力UP

↓
組織ブランドの向上

↓
組織への共感が集まり持続的な成長の基盤となる



■ESクレド導入・活用期における5つの“場”

- 【1】ES推進委員会(クレドプロジェクト)メンバーが方針・情報・意識を共有する場
- 【2】管理職・リーダーを強化する場
- 【3】経営者・幹部社員がビジョンを共有し組織の求心力を高める場
- 【4】目に見えない“暗黙知”を見える化し共有するための社員参画の場
- 【5】広報の場(社内、社外)

【1】

- ・月一回委員会開催
- ・ES推進に関するKPIの策定
- ・チャットワーク等ITツールによる情報共有

【3】

- ・合宿型ES体感研修
- ・ビジョン策定プロジェクト
- ・地域志向CSR活動の推進

【5】

- ・かわら版(簡易社内版)の発行
- ・Facebook、ツイッター、ブログ等での情報発信

【2】

- ・自己変容と組織変革を促すリーダー研修プログラム
- ・リーダーミーティング(グループコーチング)

【4】

- ・ありがとうカードなど全員参加型ES施策の実施
- ・ワールドカフェの定期開催